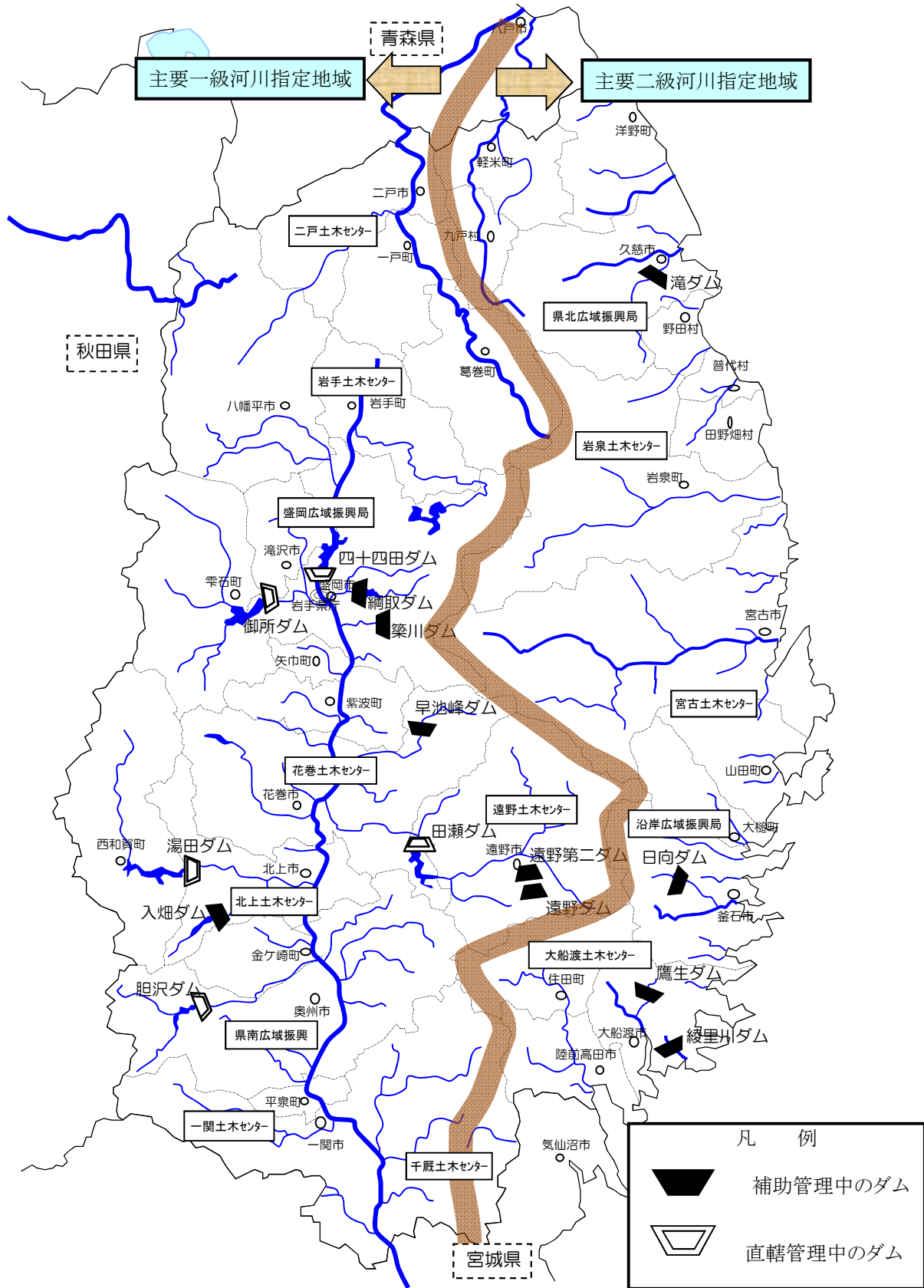


6 河川・ダム関係

35	主要河川・ダム位置略図	67
36	河川の現況	68
37	直轄河川改修事業状況	68
38	河川改修事業費の推移	69
39	三陸高潮対策事業概要	70
	(1) 明治以降来襲した主な三陸津波年表	70
	(2) 三陸津波被害状況	70
	(3) 計画諸元と既往潮位	71
40	ダム事業の現況	72
41	北上川上流一関地区遊水地建設事業の状況	74
42	河川事業投資額の状況	75
43	河川関係施設一覧	76
	(1) 河川公園	76
	(2) 河川水門	76
	(3) その他施設	76

35 主要河川・ダム位置略図(令和6年4月1日現在)



36 河川の現況(令和6年4月1日現在)

級別	法定河川							準用河川		
	水系名	所管別						水系名	河川数	延長(m)
		大臣		知事		計				
		河川数	指定延長(m)	河川数	指定延長(m)	河川数	指定延長(m)			
一級	北上川	16	291,530	180	1,505,516.6	182	1,797,046.6	北上川	254	540,877
	米代川	—	—	6	43,532	6	43,532	米代川	4	6,640
	馬淵川	—	—	19	304,244	19	304,244	馬淵川	56	159,470
	計	16	291,530	205	1,853,292.6	207	2,144,822.6	計	314	706,987
二級	気仙川ほか	—	—	108	978,495	108	978,495	その他(73水系)	221	622,135
合計		16	291,530	312	2,831,787.6	314	3,123,317.6	計	535	1,329,122

注1 「河川数」のうち国土交通大臣が管理している16河川のうち14河川は、知事管理河川と重複している。

注2 準用河川は、県内31市町村が、河川法第100条第1項の規定に基づいて指定し、管理しているものである。

37 直轄河川改修事業状況

(単位：千円)

直轄河川事業負担金	H31/R1	R2	R3	R4	R5
直轄河川改修費	1,859,870	1,727,906	1,519,232	1,484,083	1,436,141
北上川上流(一般分)	490,373	209,253	324,013	322,886	330,935
北上川上流(大規模分)	888,250	918,000	787,752	730,664	968,206
北上川上流(経済対策分)	481,247	600,653	407,467	430,533	137,000
直轄河川工作物関連応急対策事業費	22,200	12,666	3,800	27,133	0
直轄河川環境整備事業費(※経済対策分含む)	39,750	50,300	※ 153,400	※ 153,400	※ 75,800
河川等災害関連事業費		33,632			
過年度精算額	△ 61	△ 5	△ 3,139	△ 2,799	△ 30
合計	1,921,759	1,824,499	1,673,293	1,661,817	1,511,911

38 河川改修事業費(基幹河川・一般河川・河川局部改良・総合流域防災)の推移

年度	公共事業費	内 訳				調 整 額
		基 幹 河 川	一 般 河 川	河川局部改良	総合流域防災	
平成 26	1,573,287	1,130,591	20,000	0	422,696	0
27	3,849,000	2,693,000	0	0	1,156,000	0
28	4,970,188	(推1,930,000) 4,003,980	0	0	966,208	1,930,000
29	3,789,929	2,760,929	0	0	1,029,000	0
30	4,479,585	3,674,218	0	0	805,367	0
令和 元	6,389,931	5,741,551	0	0	648,380	0
2	6,528,550	5,037,691	0	0	1,490,859	0
3	5,014,000	2,612,000	0	0	2,402,000	0
4	4,880,000	3,134,000			1,746,000	0
5	4,225,000	2,752,399			1,472,601	0

注 ()内の「促」は住宅宅地関連公共施設整備促進事業、下水道関連特定治水施設整備事業及び河川等関連公共施設整備促進事業、住宅市街地基盤整備事業、住宅宅地特定治水施設整備事業、「推」は景観形成事業推進費、災害対策緊急事業推進費の外書であり、調整額はその計である。

39 河川津波対策事業概要

(1) 明治以降来襲した主な三陸津波年表

日本暦	西洋暦	地震の規模	世界大地震年報との対比	中南米から来た津波と推定出来るもの
明治10年5月10日	1877年5月10日		チリ沖津波あり	○
明治27年3月23日	1894年3月23日	M7.9		
明治29年月6月15日	1896年6月15日	M7.6		
明治30年2月20日	1897年2月20日	M7.8		
明治30年8月5日	1897年8月5日	M7.7		
大正4年11月1日	1922年11月1日	M7.5		
昭和8年3月3日	1933年3月3日	M8.3		
昭和35年5月24日	1960年5月24日	M8.5	同年5月23日にチリに地震津波あり	○
昭和43年5月16日	1968年5月16日	M7.9		
平成23年3月11日	2011年3月11日	M9.0		

(2) 三陸津波被害状況

番号		1	2	3	4	6	7	8	9	計	全体の被害
河川名		長部川	気仙川	鶉住居川	大槌川	小本川	宇部川	久慈川	津軽石川		
死者(人)	明治29年	14	30	1,069	900	367	258	525	1,028	4,191	22,565
	昭和8年	32	3	4	51	118	7	—	1	216	2,713
	昭和35年	8		—	—	—	—	—	1	9	62
人家流失(戸)	明治29年	35	1	350	500	330	90	153	221	1,680	5,446
	昭和8年	102	4	28	135	82	43	2	3	399	4,962
	昭和35年	304		53	271	—	10	5	76	719	2,171
家屋浸水(戸)	明治29年	569	616	511	1,192	386	411	1,129	434	5,248	—
	昭和8年	3	10	11	357	44	33	10	345	813	2,270
	昭和35年	199		768	637	—	—	4	—	1,608	4,507

※ 平成23年東日本大震災津波による被害状況については、河川ごとにまとめたデータは無し。

(3) 河川津波対策計画諸元(令和6年4月1日現在)

No.	河川名	東日本大震災津波被災前		東日本大震災津波被災後(2011年9月～10月策定)				対策施設諸元
		計画堤防高(T.P.-m)	既設堤防高(T.P.-m)	計画堤防高(T.P.-m)	対象津波	設計津波水位(T.P.-m)	防御方式	
1	久慈川	8.0	7.3	※1 8.0	昭和三陸地震津波	※4 5.4	堤防	コンクリート被覆式 傾斜型堤防
2	夏井川	8.0	7.3	※1 8.0	昭和三陸地震津波	※4 5.4	堤防	コンクリート被覆式 傾斜型堤防
3	宇部川	12.0	7.8	—	—	—	水門	水門延長:41.8m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:2門
4	小本川	13.3	13.3	※3 14.7	昭和三陸地震津波	13.7	水門 +堤防	水門延長:221.0m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:6門
5	田代川	10.0	10.0	14.7	昭和三陸地震津波	13.7	水門	水門延長:101.0m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:3門
6	閉伊川	8.5	5.26	10.4	明治三陸地震津波	9.4	水門	水門延長:164.4m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:4門
7	津軽石川	8.5	8.0	10.4	明治三陸地震津波	9.4	水門	水門延長:189.0m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:7門
8	大沢川	6.6	4.0	9.7	明治三陸地震津波	8.7	水門	水門延長:20.6m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:1門
9	関口川	6.6	3.8	9.7	明治三陸地震津波	8.7	水門	水門延長:71.8m 鋼製シェル構造 サニットゲート:2門
10	織笠川	6.6	4.0	9.7	明治三陸地震津波	8.7	水門	水門延長:88.3m 鋼製プレートガーダ構造 サニットゲート:4門
11	大槌川	6.4	6.4	14.5	明治三陸地震津波	13.5	水門	水門延長:148.0m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:4門
12	小釜川	6.4	6.4	14.5	明治三陸地震津波	13.5	水門	水門延長:88.5m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:3門
13	甲子川	6.1	4.0	※1 6.1	明治三陸地震津波	※4 4.8	水門	水門延長:124.0m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:4門
14	鶴住居川	6.4	6.4	14.5	昭和三陸地震津波	13.5	水門	水門延長:200.0m 鋼製シェル構造 サニットゲート:5門
15	盛川	3.4	3.4	7.5	明治三陸地震津波	※4 6.5	堤防	コンクリート被覆式 傾斜型堤防+ 逆T式直立型堤防
16	須崎川	3.4	3.4	7.5	明治三陸地震津波	※4 6.5	水門	水門延長:33.2m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:1門
17	後の入川	3.4	—	7.5	明治三陸地震津波	※4 6.5	水門	水門延長:26.5m 鋼製シェル構造 ローラーゲート:1門
18	長部川	6.5	6.5	12.5	想定宮城県沖地震津波	11.5	水門	水門延長:26.9m 鋼製プレートガーダ構造 ローラーゲート:1門
19	気仙川	5.5	5.5	12.5	想定宮城県沖地震津波	11.5	水門	水門延長:211.0m 鋼製シェル構造 サニットゲート:5門

※1 久慈川、夏井川、甲子川の計画堤防高は、被災前計画堤防高が設計津波水位による計画堤防高よりも高いことから、被災前計画堤防高を計画堤防高としている。

※2 東北地方太平洋沖地震津波による被災後、宇部川水門より海側にT.P.+14.0mの海岸防潮堤及び野田水門が新設されたが、新設水門・防潮堤を超える津波が発生した場合に備え、被災前に整備された宇部川水門を、被災前水門整備高(T.P.+12.0m)を変更せずに残すこととしている。

※3 被災前に整備された小本川水門及び防潮堤(T.P.+13.3m)が、地震による地盤沈下の影響により0.61m沈下したままの状態、既設水門等を越える津波を山付け堤防(T.P.+14.7m)で小本川へ受け流す計画としている。

※4 久慈川、夏井川、甲子川、盛川、須崎川、後の入川は、湾口防波堤による水位低下効果を考慮した計画としている。

40 ダム事業の現況(令和6年4月1日現在)

事業名	ダム名	河川名	所在地	目的	形式	堤高 (m)	堤頂長 (m)	堤体積 (m ³)	湛水面積 (km ²)	総貯水容量 (千m ³)	有効貯水容量 (千m ³)
直轄事業	田瀬	猿ヶ石川	花巻市	F・A・P	G	81.5	320.0	420	6.00	146,500	101,800
	湯田	和賀川	西和賀町	F・A・P	GA	89.5	264.9	380	6.30	114,160	93,710
	四十四田	北上川	盛岡市	F・P	GE	50.0	480.0	382	3.90	47,100	35,500
	御所	雫石川	盛岡市	F・N・I・P	GR	52.5	327.0	1,200	6.40	65,000	45,000
	胆沢	胆沢川	奥州市	F・N・A・W・P	R	127.0	723.0	13,500	4.40	143,000	132,000
補助事業	遠野	来内川	遠野市	F	G	26.5	181.5	31	0.12	1,030	920
	網取	中津川	盛岡市	F・N・W (P)	G	59.0	247.0	201	0.79	15,000	13,300
	滝	長内川	久慈市	F・N・P	G	70.0	187.0	220	0.34	7,600	6,000
	入畑	夏油川	北上市	F・N・W・I・P・A	G	80.0	233.0	293	0.63	15,400	13,900
	日向	小川川	釜石市	F・N (P)	G	56.5	290.0	241	0.29	5,700	5,000
	早池峰	稗貫川	花巻市	F・N・W・I・P	G	73.5	333.0	333	0.86	17,250	15,750
	綾里川	綾里川	大船渡市	F・N・W	G	43.0	154.0	70	0.034	486	445
	鷹生	鷹生川	大船渡市	F・N・W (P)	G	77.0	322.0	328	0.39	9,680	9,000
	遠野第二	来内川	遠野市	F・N	G	23.1	87.5	20	0.08	248	221
築川	築川	盛岡市	F・N・W・P	G	77.2	242.7	230	0.97	19,100	16,700	

注1 目的欄のFは洪水調節又は防災、Aは灌漑、Pは発電、(P)は管理用発電、Wは上水道、Nは不特定、Iは工業用

注2 型式欄のRはロックフィル、Gは重力式コンクリートダム、GAはアーチ重力式コンクリートダム、GEは重力式コンクリート・アース複合ダム、GRはロックフィル・コンクリート重力式複合ダム

ダム事業の現況(つづき)

事業名	ダム名	洪水調節(m ³ /s)			水位(m)			発電規模(kW)	用 水	建設年月
		計画 洪水量	計画放流	計画 調節量	制限	平常時	洪水時			
直 轄 事 業	田 瀬	2,700	500	2,200	196.5	215.0	215.0	27,000	灌 漑 5,950ha 9.0m ³ /s	昭和16年10月 ～昭和29年10月
	湯 田	2,200	400	1,800	222.0	236.5	239.0	53,100	灌 漑 3,715ha 7.1m ³ /s	昭和28年8月 ～昭和39年11月
	四十四田	1,350	700	650	159.0	170.0	171.0	15,100		昭和37年4月 ～昭和43年10月
	御 所	2,450	1,200	1,250	174.0	180.0	182.0	13,000	工 水 64,800m ³ /日	昭和44年4月 ～昭和56年10月
	胆 沢	2,250	40 (最大175)	2,210	342.9	345.6	356.5	15,800	灌 漑 9,646ha 27.3m ³ /s 上水道 46,800m ³ /日	昭和63年4月 ～平成25年3月
補 助 事 業	遠 野	235	75 (最大90)	160	—	306.1	318.5			昭和28年4月 ～昭和32年6月
	綱 取	740	130 (最大150)	610	191.0	194.0	212.0	200	上水道 32,000m ³ /日	昭和49年4月 ～昭和57年10月
	滝	1,200	820	380	54.3	59.4	82.0	450		昭和47年4月 ～昭和57年11月
	入 畑	520	160 (最大250)	360	343.0	350.0	351.5	2,100	上水道 38,000m ³ /日 工 水 17,000m ³ /日 灌 漑 35,000m ³ /日	昭和52年4月 ～平成2年10月
	日 向	340	30 (最大40)	310	—	136.5	164.0	50		昭和58年4月 ～平成9年10月
	早池峰	320	40 (最大70)	280	—	302.0	316.8	1,400	上水道 1,000m ³ /日 工 水 21,600m ³ /日	昭和62年4月 ～平成12年10月
	綾里川	19	6 (最大7)	13	—	107.7	113.3		上水道 500m ³ /日	平成3年4月 ～平成12年10月
	鷹 生	330	30 (最大40)	300	—	260.5	287.9	280	上水道 4,630m ³ /日	平成元年4月 ～平成18年10月
	遠野第二	100	10	90	—	278.1	281.25			平成2年4月 ～平成23年3月
築 川	580	100 (最大170)	480	—	279.2	296.3	1,900	上水道 5,000m ³ /日	平成4年4月 ～令和3年7月	

41 北上川上流一関地区遊水地建設事業の状況

事 項	状 況
1. 事業の沿革	<p>一関遊水地事業は、昭和22年及び23年の洪水による大水害を契機に、昭和24年2月に既往計画の五大ダムの調節量と合わせた舞川遊水地としての計画が始まりである。</p> <p>その後、昭和48年3月には、規模を拡大した現在の一関遊水地が計画され、上流の五大ダム群と合わせて5,100m³/sの洪水調節を行うものとなった。</p> <p>事業着手後は、昭和49年7月に家屋移転開始、昭和55年5月遊水地起工式、昭和58年周囲堤の盛土着手、さらに、昭和59年平泉バイパス着手と推移した。</p> <p>平成5年11月、国土交通省は一関遊水地及び平泉バイパス事業の計画を変更し、「柳之御所遺跡」の保存と各事業の両立を図りつつ事業を推進することとした。「柳之御所遺跡」の発掘調査は、昭和63年から平成5年まで行われ、奥州藤原氏が最も栄華を極めた三代秀衡の政庁とされる「平泉館(ひらいずみのたち)」であることがわかり、平成9年3月5日には国の指定史跡とされた。</p> <p>平成14年には、柳之御所保存に伴う河道掘削及び河川埋土工事に着手し、バイパス事業とともに遺跡周辺の整備を推進している。また、遊水地内ではほ場整備事業等と連携を図り、小堤等の整備を進めている。</p>
2. 事業着手に至る経緯	<p>北上川上流部の治水対策は、昭和16年に20か年にわたる五大ダムを含む改修事業に着手したが、工事の進展をみないうちに、昭和22年カスリン台風、翌23年アイオン台風の洪水によって、一関地区だけでも死者数百人を数える大被害を受けた。その後、昭和28年から昭和56年までに五大ダムそれぞれが完成し、ダムによる洪水調節計画は完了した。</p> <p>昭和40年4月、国土交通省は、北上川水系工事実施基本計画を決定し、北上川上流の治水対策の方針を定めたが、さらに水害に対する安全度を高める必要が生じ、昭和48年3月には工事実施基本計画を改訂した。この改訂により、一関地区においては、周囲堤と小堤からなる2線堤方式を採用し、3つの遊水地で洪水調節を行う、一関遊水地を整備する計画を決定し、昭和47年の事業着手に至った。</p>
3. 計画の概要	<p>一関遊水地は周囲堤(本堤)と小堤からなる2線堤方式を採用しており、第1遊水地(820ha)、第2遊水地(470ha)、第3遊水地(160ha)の3つの遊水地で構成される。遊水地への越流は、概ね10年に1回程度発生する洪水規模以上で、3つの遊水地において同時に開始される計画となっている。</p> <p>これにより、狐禅寺地点の基本高水流量13,600m³/sに対して、ダムで2,800m³/s、一関遊水地で2,300m³/s調節して、計画高水流量を8,500m³/sとする計画である。</p>
4. 令和5年度末の状況	<p>令和5年度の工事では、第1、第2、第3遊水地の湛水池掘削等の整備を実施した他、遊水地の小堤や管理堤、磐井川河川改修の築堤工事等を行い事業の推進を図った。</p>

42 河川事業投資額の状況(県一般会計)

(単位:百万円)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
I 普通建設事業					
1 補助事業	25,150	28,804	13,902	8,329	8,459
(1) 河川	21,283	23,397	13,356	7,593	7,326
基幹河川改修	2,193	2,694	2,115	3,134	2,753
一般河川改修	3,564	2,343	712	-	-
総合流域防災事業費	686	1,491	2,402	1,746	1,473
三陸高潮対策	11,214	10,630	-	-	-
特定構造物改築	132	322	-	-	-
地域活力基盤創造交付金	-	-	-	-	-
河川等災害関連	32	-	-	-	-
河川災害復旧等関連緊急	389	1,632	-	-	-
河川災害復旧助成	1,547	881	2,527	573	-
河川激甚災害対策特別緊急	1,160	3,404	5,600	2,140	3,100
床上浸水対策特別緊急	366	-	-	-	-
基幹河川改修関連事業	-	-	-	-	-
災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策	-	-	-	-	-
(2) ダム	3,867	5,407	546	736	1,133
築川ダム建設	3,706	4,080	-	-	-
堰堤改良	161	1,327	546	736	1,133
環境整備	-	-	-	-	-
2 単独事業	3,486	3,064	3,008	3,469	3,477
河川台帳整備	20	25	20	70	31
治水施設整備	1,187	849	849	769	879
河川海岸等維持修繕	1,331	1,351	1,351	1,624	1,766
水辺環境再生	20	15	15	-	-
水防警報施設整備	73	39	22	80	80
都市基盤河川改修事業費補助	194	154	154	137	189
ダム管理修繕	231	218	218	323	290
河川整備基本方針策定	305	205	171	238	242
県単独河川災害復旧等関連緊急	-	-	-	-	-
県単災害復旧助成	110	135	135	130	-
県単激甚災害対策特別緊急	15	73	73	98	-
3 国直轄事業負担金	1,941	2,969	1,823	1,744	1,684
直轄河川事業費負担金	1,922	2,850	1,674	1,624	1,512
直轄ダム事業費負担金	19	119	149	120	172
4 受託事業	672	2,224	12	800	427
基幹河川改修	114	297	-	173	117
総合流域防災事業	38	-	-	-	-
地域活力基盤創造交付金	-	-	-	-	-
河川海岸等維持修繕	-	-	-	-	-
三陸高潮対策	34	546	-	-	-
特定構造物改築	-	-	-	-	-
河川等災害関連	12	-	-	-	-
河川災害関連特別対策	-	-	-	-	-
河川災害復旧助成	15	10	12	24	-
河川災害復旧等関連緊急	47	406	-	-	-
河川激甚災害対策特別緊急	160	881	-	603	310
床上浸水対策特別緊急	0	-	-	-	-
治水施設整備	-	-	-	-	-
築川ダム建設	252	84	-	-	-

43 河川関係施設一覽

(1) 河川公園(50箇所)

河川名	公園名	河川名	公園名	河川名	公園名
諸葛川	盛岡市長橋	和賀川	北上市江釣子	宮守川	遠野市宮守町上宮守
滝名川	紫波町犬淵	宿内川	金ヶ崎町三ヶ尻	猿ヶ石川	遠野市早瀬
涼川	八幡平市野口	人首川	奥州市江刺区寺田	小友川	遠野市不動
雫石川	雫石町春木場	黒沢川	金ヶ崎町下釜	長沢川	宮古市花輪
安比川	八幡平市五日市	人首川	奥州市江刺区反町	閉伊川	宮古市小山田
安比川	八幡平市川原	広瀬川	奥州市江刺区梁川	閉伊川	宮古市老木
安比川	八幡平市小柳田	広瀬川	奥州市江刺区愛宕馬場先	閉伊川	宮古市高德
赤川	八幡平市白屋	胆沢川	奥州市水沢区玉貫	閉伊川	宮古市川井
涼川	八幡平市西根寺田	金流川	一関市花泉町桶津	久慈川	久慈市田屋～栄町
馬淵川	葛巻町田子	千厩川	一関市川崎町薄衣	久慈川	久慈市幸町
諸葛川	滝沢市穴口	盛川	大船渡市下権現堂	久慈川	久慈市長内
米代川	八幡平市左妻	気仙川	陸前高田市中瀬	雪谷川	軽米町円子
後川	花巻市小舟渡	立根川	大船渡市立根	雪谷川	軽米町向川原
稗貫川	花巻市大迫町亀ヶ森	気仙川	住田町世田米	平糠川	一戸町西田子
葛丸川	花巻市石鳥谷町八幡	鶉住居川	釜石市片岸	馬淵川	一戸町みどり橋
瀬川	花巻市花巻温泉	甲子川	釜石市鈴子	瀬月内川	九戸村山屋
豊沢川	花巻市中根子	大槌川	大槌町源水		

(2) 河川水門(令和5年度委託水門数 1,894箇所)

主な水門

河川名	水門名	河川名	水門名	河川名	水門名
小本川	小本川水門	須崎川	須崎川水門	宇部川	宇部川水門
田代川	田代川水門	津軽石川	津軽石川水門	小鎚川	小鎚川水門

(3) その他の主な施設

- ア. 放水路 吸川放水路、木賊川放水路、長内川放水路、新山川放水路
- イ. 内水排水施設 津軽石川、沢川
- ウ. 河川浄化施設 後川